

出水期に備えて

～知る・備える・行動する水害対策～



台風で増水した荒川の様子（糠田橋付近）

問合せ 危機管理課（内線 2213）

近年、全国各地で記録的な大雨や台風による災害が発生しています。
大切な命と暮らしを守るためには、災害が発生する前から備えておくことが重要です。
避難方法や情報収集の手段、家庭でできる備えについて確認しておきましょう。

「出水期」とは？

出水期とは、梅雨や台風の影響により、大雨が発生しやすくなる時期（6月～10月）のことです。河川の氾濫や浸水などの水害が発生する危険性が高まるため、日頃から気象情報や避難情報に注意することが大切です。

身近に潜む水害の危険

鴻巣市では、荒川など複数の河川が流れており、大雨や台風による河川の水位上昇や、道路や住宅地の浸水など、様々な水害が発生するおそれがあります。災害の発生を正確に予測することはできません。しかし、水害は地震とは異なり、気象情報や河川の水位情報などから危険が迫っていることを事前に把握しやすい災害です。

「自分は大丈夫だろう」と思わず、自宅や職場周辺にどのような危険があるのかを確認しておくことが大切です。ハザードマップなどで水害リスクや避難場所を確認し、自分や家族の命を守るための備えを進めましょう。

災害時の適切な対応につながる情報収集

災害に対して適切に対応するには、正確な情報の収集が必要です。テレビやラジオなどの報道機関のほかに、市ホームページや SNS などにも注意して最新情報を把握しましょう。

災害ポータルサイト(市HP)

避難情報や避難場所の開設状況など、市内の災害情報が確認できます



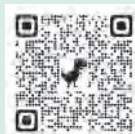
市公式LINE・X

災害時の情報や市からののお知らせを配信しています。友だち追加やフォローして、最新の情報を確認しましょう



気象庁公式サイト「キキクル」

大雨による災害の危険度を地図上で確認できます



防災行政無線放送メール配信サービス

防災行政無線で放送した内容をメールで受信



Yahoo! 防災速報アプリ

アプリ内に鴻巣市を登録すると、災害情報を受け取れます



耳で聴くハザードマップ

専用のアプリをダウンロードすることで、ハザードマップの情報を音声で確認できます



避難は、いつ・どこに？

避難の判断基準

令和 8 年 5 月 29 日から、災害時の避難判断に活用される防災気象情報が新しくなりました。まずは、警戒レベルごとの住民がとるべき行動を確認しておきましょう。その上で、情報の意味を正しく理解し、早めの避難行動や適切な判断につなげましょう。

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5 相当	レベル 5 氾濫特別警報	レベル 5 大雨特別警報	レベル 5 土砂災害特別警報	レベル 5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル 4 までに危険な場所から かならず避難！＞					
警戒レベル 4 相当	レベル 4 氾濫危険警報	レベル 4 大雨危険警報	レベル 4 土砂災害危険警報	レベル 4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3 相当	レベル 3 氾濫警報	レベル 3 大雨警報	レベル 3 土砂災害警報	レベル 3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル 2 氾濫注意報	レベル 2 大雨注意報	レベル 2 土砂災害注意報	レベル 2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

避難場所の例

◎ 指定避難所 ◎

自宅での安全確保が難しい場合は、指定避難所へ避難しましょう。いざという時、慌てないように避難場所・経路を確認しておきましょう。



◎ 親戚・知人宅 ◎

安全な場所に住む親戚や知人の家へ避難することも有効です。事前に避難先や連絡方法を確認しておきましょう。

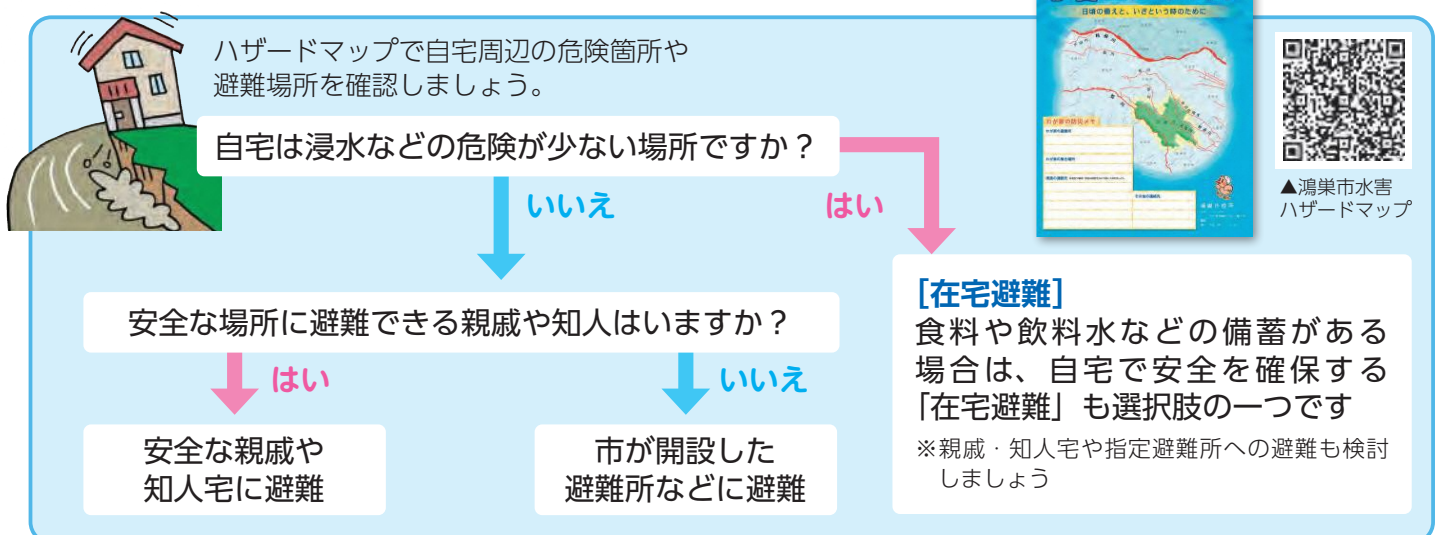


◎ 在宅避難 ◎

自宅が浸水や家屋倒壊などの危険がない場合は、自宅で安全を確保する「在宅避難」も方法の一つです。食料や飲料水などを備蓄しておきましょう。



避難行動判定フロー



▲鴻巣市水害ハザードマップ

マイ・タイムラインをつくろう

マイ・タイムラインとは、台風や大雨による水害に備え、「いつ」「誰が」「何をするか」をあらかじめ整理しておく、自分や家族の防災行動計画のことです。事前に避難先や連絡方法などを決めておくことで、いざという時も落ち着いて行動できます。

記入例

マイ・タイムライン

【例】〇〇前の道路は冠水する／〇〇付近は倒木の可能性がある

自宅は浸水想定区域の中で、
浸水深は最大2.12m。
橋本（浸水想定区域外）に姉が住んでいる。

ここまでに危険な場所から必ず避難！

0時間前

警戒レベル5 緊急安全確保

警戒レベル4 避難指示

警戒レベル3 高齢者等避難

警戒レベル2 大雨注意報・氾濫注意報（気象庁）

警戒レベル1 早期注意報（気象庁）

3日前（台風発生）

2日前

1日前

雨・風が時間とともに強くなる

マイ・タイムライン

事前確認

● 浸水する深さ（2.12）m ● 河川との距離（2700）m
● 最寄りの避難所（中央小学校）までの距離（450）mと時間（5）分
● ペット避難に必要な準備と所要時間（ケージに入れ、餌の準備）10分ほど

【我が家の避難スイッチ】
警戒レベル（3）で（姉の家へ避難）する

◎事前にできることを記入しましょう

◎避難するタイミングを記入しよう

◎避難先を記入しておこう（複数の場所を想定しておこう）

◎逃げ遅れた場合の命を守るための最善の行動を記入しておこう

● 持出品の準備
● 常備薬の確認
● 飛ばされやすい物を家の中に入れる
● ハザードマップで避難経路を確認
● 動きやすい服装に着替えておく
● 姉に連絡する（避難する可能性を伝える）

● 避難するタイミングを記入しよう

● 家族3人で姉の家へ避難完了
● 姉の家も危険な場合は、中央小学校へ避難

● 逃げ遅れた場合の命を守るための最善の行動を記入しておこう

● 持出品を持って、自宅の2階に避難する
● 自宅2階に避難することを姉に連絡する

※マイ・タイムラインの作成シートは、水害ハザードマップに掲載しています。
ハザードマップをお持ちでない方は市 HP をご覧ください

マイ・タイムライン作成についてはこちら▶



マイ・タイムラインをつくるための4つのポイント

Point

1

ハザードマップを確認

自宅や職場周辺の浸水想定区域や避難場所を確認し、どのような危険があるのか把握しましょう。避難経路もあわせて確認しておくことがポイントです。



Point

2

避難のタイミング

警戒レベルや気象情報を参考に、いつ避難するかをあらかじめ決めておきましょう。危険を感じる前に早めの避難を心掛けることが大切です。



Point

3

避難先を決める

在宅避難や親戚・知人宅、指定避難所など、自分に合った避難先を考えましょう。状況に応じて、複数の避難先を決めておく、いざという時も落ち着いて行動できます。



Point

4

家族で話し合う

連絡方法や集合場所、避難時の役割分担を決めておきましょう。普段から家族で情報を共有しておくことが重要です。



もしもの時に備えよう

いざという時に落ち着いて行動するためには、日頃からの備えが欠かせません。食料や飲料水は最低3日分、できれば7日分を目安に備蓄し、携帯トイレの準備など、この機会に家庭での備えを見直し、自分や家族を守るための対策を進めましょう。

備蓄品リスト(例)

飲料水・食料品

- ☐ 飲料水(1人1日3ℓ×家族の人数)
- ☐ 食料品(缶詰、レトルト食品など)

乳幼児のいる家庭の備え

- ☐ 紙おむつ
- ☐ おしり拭き
- ☐ 哺乳瓶
- ☐ スプーン等
- ☐ 乳幼児用おやつ
- ☐ 哺乳瓶消毒グッズ
- ☐ ミルク(液体、粉)

要介護者のいる家庭の備え

- ☐ 介護食
- ☐ 大人用紙おむつ

ペットのいる家庭の備え

- ☐ ペットフード
- ☐ トイレ用品

日用品・衛生用品

- ☐ ティッシュ、ウェットティッシュ
- ☐ 割り箸、紙皿、紙コップ
- ☐ ラップ、アルミホイル
- ☐ タオル類
- ☐ 生理用品
- ☐ 救急セット
- ☐ 手指消毒液、マスク
- ☐ ビニール袋

ライフライン停止の備え

- ☐ ライター等
- ☐ カセットコンロと燃料
- ☐ 電池、モバイルバッテリー
- ☐ ラジオ
- ☐ 懐中電灯、LEDランタン
- ☐ マウスウォッシュ
- ☐ 体拭きウェットタオル
- ☐ 水のいらないシャンプー
- ☐ 携帯トイレ

ローリングストックで備蓄

普段食べているものなどを多めに備え、使用した分を買い足して常に備蓄を保つ方法です。日用品や使用期限のある備蓄品でも活用できます。



備えておくべき トイレの必要数

(4人家族の場合)

1人1日5回

(大便1回、小便4回)

×
4人

×

1週間

= 140回分

携帯トイレの使い方(例)



空気を抜いて口をしぼり、
ごみの収集まで他の可燃
ごみとは分けて保管する



トイレに袋を取り付ける。
使用後、凝固剤を振りか
けて固める

**災害時に起こる
トイレの混乱**

災害時の備えとして食料品や日用品等に目が行きがちですが、意外に見落とされがちなのが「トイレの備蓄」です。災害時は、断水などにより自宅のトイレが流せなくなる場合があります。携帯トイレを備蓄しておけば、断水時でも使用することができます。いざという時に備え、家族全員分を準備しておきましょう。

~~~~~ 土のうを配布します ~~~~~

水害時の応急対策として、希望する世帯に最大10袋まで配布します。事前に連絡のうえ、配布場所に直接取りに来てください。配布した土のうの回収は行いません。

配布期間 8月3日(月)から
※なくなり次第終了

配布場所	連絡先
鴻巣市役所	危機管理課 内線 2213
吹上支所	地域グループ ☎ 548-1211
川里支所	地域グループ ☎ 569-1111

